

# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

試読・購読はこちらから



12月14日号（292号）

編集／販売総本部ブランドプロモーショングループ

## 「天才少女」が見つけた「幸せの形」 元バレーボール女子日本代表 宮下遙さん 14日(日)=1、3面

宮下遙さんは小学6年で身長170センチもあり、「天才少女」と将来を嘱望されました。中学から親元を離れてバレーボール漬け、18歳で日本代表に選ばれました。日本の女子バレーは2012年のロンドン五輪で銅メダルに輝きましたが、その後セッターの竹下佳江さんが引退。その後継として「大型セッター」と期待されたのが宮下さんでした。でも竹下選手の功績が偉大すぎて、周囲の期待に応えられないと自分にもどかしさを覚え、苦しみます。また、マスコミにもたたかれて涙し、人間不信になりました。

そんなときに救つてくれたのが、日本代表の先輩、木村沙織さんや同学年の友人、高木美帆さん（スピードスケート）らでした。バレーボールは苦しいことばかりでしたが、引退後は地元、三重県のクラブチームのスタッフとなり、ようやく「自分らしさ」を見つけられたようです。

天才少女の苦しみと、それを乗り越えた軌跡をたどります。



迫る

## ミラノ五輪、日本代表はどうなる 14日(日)=総合面

来年2月6日にイタリアで開幕するミラノ・コルティナ冬季オリンピックに向けて、各競技で日本代表の選考が佳境を迎えています。12月にはフィギュアスケートやスピードスケートで、最終選考会となる全日本選手権が開催されます。

フィギュアでは「りくりゅう」の愛称で知られ、ペア種目として日本初の金メダルが期待される三浦璃来（りく）、木原龍一組は写真で出場します。代表選考のポイントなどを紹介します。



特集ワイド

## 寺田学さんの「政界引退」表明から考える 15日(月)=夕刊2面

立憲民主党の衆院議員、寺田学さんは写真で、次の衆院選には立候補しないで、政治の世界から退く決意を明らかにしました。政治活動と家庭を両立するのが難しかったという。背景には、国會議員として活動し続けるには、平日ばかりか土日も費やすことが求められる現状があるそうです。国会議員はさまざまな立場の人たちの代表です。このままいいのでしょうか。寺田さんと考えました。



論点

## 「排外主義」とは？

17日(水)=総合面

世界的に台頭している「日本人ファースト」を掲げた参政党は写真で、実施している早稲田大学文学学術院教授の田辺俊介さんに聞きました。

海外にルーツを持つ人たちは日本でどう暮らしているのかについて、静岡県立大学教授の米野みよさんに聞きました。